

◇中国地方の「海の駅」の歩み◇

- 平成12年3月11日
広島県豊町が「ゆたか海の駅」を開館。
- 平成13年8月25日～26日
瀬戸内海の7県56市町村でつくられた「瀬戸内海離島振興推進協議会」が「瀬戸内海島しょサミット21」を開催。せとうち宣言を採択。（海に開かれた新たなネットワーク形成のための拠点である「海の駅」の整備など、すでに各地で始まっている試みに着目し、これらをつなぎ拡大する。）
- 平成14年3月
瀬戸内海島しょ域の地域活性化方策に関する調査を実施。
- 平成14年10月1日
17市町により、「瀬戸内海“海の駅”の設置推進会議」を設立。
“瀬戸内海地域における「海の駅」の設置等に係る運用規約”を制定
- 平成14年11月23日
「ゆたか海の駅」、「おおがき海の駅」、「かまがり海の駅」の3施設に対し全国初となる「海の駅」登録証を交付。
- 平成15年10月9日
「のうみ海の駅」、「くらはし海の駅」、「おおさきかみじま海の駅」の3施設に対して「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は6駅となる。
- 平成16年3月1日
“瀬戸内海地域における「海の駅」の設置等に係る運用規約”を改正し、“瀬戸内海地域を主体とした広域における「海の駅」の設置等に関する規則”及び“「海の駅」の設置等に関する運用規約”を制定。
自治体主体の登録から民間事業者の参入や全国展開に向けた取り組みを行うとともに、共通のロゴマークを制定。
- 平成16年5月27日
民間事業者第1号として「ひろしま海の駅」に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は7駅となる。
- 平成16年7月29日
民間事業者第2号として「うしまど海の駅」に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は8駅となる。
- 平成17年2月24日
第5回瀬戸内海“海の駅”設置推進会議運営委員会の開催に合わせて、全国展開を具体化するための意見交換や情報交換を行うため、全国各地地方運輸局関係者参加の「全国展開に向けた“海の駅”ネットワーク検討会」を中国運輸局で開催。

- 平成 17 年 3 月 2 日
「おのみち海の駅」に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は 9 駅となり、全国では 19 駅となる。
- 平成 17 年 3 月 20 日
瀬戸内海「海の駅」設置推進会議の代表に呉市の小笠原臣也市長が就任。前代表の長本憲氏は同会議の顧問に就任。これにより“瀬戸内海地域を主体とした広域における「海の駅」の設置等に関する規則”及び“「海の駅」の設置等に関する運用規約”を改正。
- 平成 17 年 11 月 30 日
「うつみ海の駅」に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内海の「海の駅」は 10 駅となり、全国では 45 駅となる。
- 平成 18 年 6 月 3 日
「海の日・特別番組」として「爽快！せとうちクルーズ ～ちょっと寄ってこ 海の駅 牛窓・尾道・広島～」と「海の駅」を題材にした 1 時間番組が放送された。(山陽放送・中国放送)
- 平成 18 年 7 月 26 日
「かさおか・こうのしま海の駅」に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は 11 駅となり、全国では 78 駅となる。
- 平成 18 年 8 月 1 日
「ひろしま・かんおん海の駅」に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は 12 駅となり、全国では 79 駅となる。
- 平成 18 年 11 月 1 日
「やすうら海の駅」に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は 13 駅となり、全国では 81 駅となる。
- 平成 18 年 11 月 29 日
東北から九州までの各地に「海の駅」設置が進められ、82 駅に達している中において、「海の駅」の更なる展開を目指して、各地区「海の駅」推進会議の連携を強化することが有益であると考え、新たに全国の「海の駅」ネットワークの形成を促進する『全国「海の駅」連絡協議会』が設立された。
- 平成 19 年 5 月 1 日
「くれ海の駅」、「おかやま海の駅」の 2 施設に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は 15 駅となり、全国では 95 駅となる。
- 平成 20 年 4 月 1 日
山口県では初めての海の駅となる「しゅうなん海の駅」に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は 16 駅となり、全国では 114 駅となる。
- 平成 22 年 1 月 25 日
「おかやま・せとうち海の駅」に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は 17 駅となり、全国で 123 駅となる。

●平成 22 年 2 月 26 日

「よしじま海の駅」に対し「海の駅」登録証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は 18 駅となり、全国で 124 駅となる。

●平成 22 年 3 月 31 日

瀬戸内の各海の駅により「NPO 法人 海の駅ネットワーク」に加入することが合意された。(瀬戸内海「海の駅」設置推進会議は発展的解散)

●平成 22 年 6 月 24 日

神戸市中央区のセンタープラザ西館においてNPO法人 海の駅ネットワークの平成22年度総会が開催された。今年度から西日本の近畿、兵庫県、瀬戸内海、四国、九州の各「海の駅」設置推進会議の「海の駅」がNPO法人海の駅ネットワークに加入し、従来より活動エリアが拡大することに伴う新しい運営体制や、具体的な取り組みが示された。

この総会において新たに設置された会長には、呉市の小村市長(旧:瀬戸内海「海の駅」設置推進会議代表)が選任された。

また、新たに「海の駅」の認定組織として『西日本「海の駅」設置認定委員会』の設立が合意された。

●平成 23 年 4 月 1 日

「ひろしま・いつかいち海の駅」に「海の駅」認定証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は 19 駅となり、全国で 132 駅となる。

●平成 23 年 6 月 30 日

「うしまど海の駅」が退会届を提出。これにより瀬戸内の「海の駅」は 18 駅となり、全国では 135 駅となる。

●平成 24 年 3 月 1 日

「さかいがはま海の駅」に「海の駅」認定証を交付。これにより瀬戸内の「海の駅」は 19 駅となり、全国では 135 駅となる。

●平成 24 年 12 月 14 日

「マリーナはぎ海の駅」に「海の駅」認定証を交付。これにより中国地方の「海の駅」は 20 駅となり、全国では 140 駅となる。

●平成 25 年 6 月 3 日

NPO法人海の駅ネットワーク及び全国「海の駅」連絡協議会を解散し、新たに全国統一組織として、任意団体「海の駅ネットワーク」が設立された。「海の駅」登録数が全国で 145 駅となる。